

文部科学省 平成 30 年度「職業実践力育成プログラム」(BP)認定

千葉大学アカデミック・リンク・センター
「アカデミック・リンク教育・学修支援専門職養成履修証明プログラム」



**Brush up Program
for professional**

「アカデミック・リンク教育・学修支援専門職養成履修証明プログラム」は、大学等に関わる方々に必要となる教育・学修支援の専門性を高めることを目的とした体系的な研修プログラムです。

本プログラムは当センターによる調査研究の結果である「教育・学修支援の専門性に必要な能力項目・能力ルーブリック」を基礎に構築されたものです。

プログラムを構成する 15 のテーマは、教育・学修支援の専門性を高めるために必要な知識や技能を修得する 11 の「基盤的テーマ」、グループワークにて教育・学修支援を実践するための手法を修得する「総合的テーマ」、教育・学修支援を推進するための具体的課題解決を企画・実践する「総括的テーマ」に区分されています。

本プログラムの受講生は、これらを体系的に学ぶことによって、「高度な実践力」「体系化された関連知見」「新しい教育の開発・企画力」を身につけることができます。

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成30年10月1日

①学校名:	千葉大学		②所在地:	千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33					
③課程名:	アカデミック・リンク教育・学修支援 専門職養成履修証明プログラム		④正規課程／履修 証明プログラム:	履修証明プログラム		⑤開設年月日:	2017/4/1		
⑥責任者:	アカデミック・リンク・センター長 竹内比呂也		⑦定員:	30名		⑧期間:	1年4ヵ月		
⑨申請する課程 の目的・概要:	本プログラムは、当センターが教育関係共同利用拠点として実施する、大学等の高等教育機関における職員らの教育・学修支援の専門性を高めることを目的とした体系的なプログラムである。当センターによる調査結果から抽出した「教育・学修支援の専門性に必要な能力項目」及び「教育・学修支援の専門性に必要な能力ルーブリック」に基づき作成されており、教育・学修支援に必要な知識・技能を獲得するとともに、eラーニングや対面での講義、グループワーク等により、先進事例から実践的に学ぶことを通じて、大学等に関わる方々に必要となる教育・学修支援の専門性を高めるものである。								
⑩4テーマへの 該当の有無	無し		⑪履修資格:	以下の(1)及び(2)を満たす者。 (1)大学を卒業し、学士の学位を有する者またはこれと同等以上の学力を有すると本センターが認めた者。 (2)大学その他の高等教育機関において教育・学修支援に携わる者、または、大学その他の高等教育機関における教育・学修支援に関心があり、将来、大学その他の高等教育機関において教育・学修支援に携わる希望がある者。					
⑫対象とする職 業の種類:	大学その他の高等教育機関において教育・学修支援に携わる者、または、大学その他の高等教育機関における教育・学修支援に関心があり、将来、大学その他の高等教育機関において教育・学修支援に携わる希望がある者。								
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・教育・学修支援に必要な知識・技能			(得られる能力) ・大学等の高等教育機関で必要となる教育・学修支援の専門性					
⑭教育課程:	「高等教育の国際化対応」や「教育IR入門」などの11の基盤的テーマでは、eラーニングや対面での講義・グループワークを通して、教育・学修支援の専門性を高めるために求められる知識・技術を修得する。グループワークを主とする「教育・学修マネジメント(1)(2)」では、教育・学修支援を実践するための手法を修得する。「プロジェクト研究・実習(1)(2)」は、教育・学修支援を推進する際に生じる諸問題について、個人的なテーマを設定し、クリティカルに追求し、具体的課題解決を検討、企画・実践する能力を身に付ける。								
⑮修了要件(修 了授業時数等):	120時間以上の履修及び各コースの修了要件を満たし、当センター教員会議で認められること。								
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	本プログラムの履修証明書								
⑰総授業時数:	120	時間	⑱要件該当授 業時数:	64.2	時間	該 当 要 件	双 方 向 実 務 家 実 地	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:	54%
⑳成績評価の方法:	総括的テーマである「プロジェクト研究・実習(2)」において成果報告会を実施し、その成果を当センターの教員会議にて総合的に判断する。								
㉑自己点検・評 価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「千葉大学アカデミック・リンク・センター教育・学修支援専門職養成部門運営委員会」において、本プログラムの内容や成果に対する検証や評価を行う。								

②修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、アンケートや教育・学修支援に関する活動内容などの調査を実施し、本プログラムの効果を検証する。
③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 履修生のアンケートなどを踏まえ、半数を外部有識者とする「千葉大学アカデミック・リンク・センター教育・学修支援専門職養成部門運営委員会」において審議することにより、教育課程の編成に外部有識者からの意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 履修生のアンケートなどを踏まえ、半数を外部有識者とする「千葉大学アカデミック・リンク・センター教育・学修支援専門職養成部門運営委員会」において審議することにより、自己点検・評価を行い、外部有識者からの意見を反映させる。
④社会人が受講しやすい工夫:	eラーニングと学習の進捗管理が可能な学習管理システムを導入している。また、対面での授業は、履修期間を通じて8日程度である。
⑤ホームページ:	(URL) https://alc.chiba-u.jp/ALPS/sd.html

事務担当者名:	高橋菜奈子	所属部署:	千葉大学附属図書館利用支援企画課
連絡先:	(電話番号) (E-mail)	043-290-2242 alps-info@chiba-u.jp	

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。

(様式2)

授業科目の概要について

学校名:	千葉大学
課程名:	アカデミック・リンク教育・学修支援専門職養成履修証明プログラム

要件該当授業時数:	64.2時間
要件該当授業時数/総授業時数:	54%

分類	科目名	配当年次	授業時数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	高等教育政策と自校理解		6/8		○	○		我妻鉄也 前田早苗	千葉大学アカデミック・リンク・センター(実務家教員) 千葉大学国際教養学部(実務家教員)
必修	カリキュラム理解		2/8		○			我妻鉄也	千葉大学アカデミック・リンク・センター(実務家教員)
必修	学生の抱える困難の理解と支援		2/8		○			岡田聡志	千葉大学アカデミック・リンク・センター
必修	コミュニケーションとカウンセリングの基礎		5.5/8		○	○		我妻鉄也 菅野仁 藤原李奈	千葉大学アカデミック・リンク・センター(実務家教員) 千葉大学学務部 千葉大学学務部教育企画課
必修	高等教育の国際化対応		7.4/8		○	○		我妻鉄也 織田雄一	千葉大学アカデミック・リンク・センター(実務家教員) 千葉大学国際未来教育基幹(実務家教員)
必修	教育IR入門:教育データの分析と活用		3/8		○			岡田聡志	千葉大学アカデミック・リンク・センター
必修	教育のICT化と教材開発支援		4.3/8			○		竹内比呂也 山中弘美 竹田透 三角太郎	千葉大学アカデミック・リンク・センター・人文科学研究院(実務家教員) 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構研究協力部 千葉大学アカデミック・リンク・センター 東北大学附属図書館情報サービス課
必修	学修支援とアカデミック・アドバイザー		4/8		○	○		竹内比呂也 織田雄一 谷奈穂	千葉大学アカデミック・リンク・センター・人文科学研究院(実務家教員) 千葉大学国際未来教育基幹(実務家教員) 千葉大学附属図書館
必修	教育方法・教育評価		8					岡田聡志	千葉大学アカデミック・リンク・センター
必修	学生・学修に対する理解		1/8		○			岡田聡志	千葉大学アカデミック・リンク・センター
必修	ラーニングコモンズの運営		3/8		○			國本千裕	千葉大学アカデミック・リンク・センター
必修	教育・学修支援マネジメント(1)		8		○			竹内比呂也	千葉大学アカデミック・リンク・センター・人文科学研究院(実務家教員)
必修	教育・学修支援マネジメント(2)		8		○			竹内比呂也	千葉大学アカデミック・リンク・センター・人文科学研究院(実務家教員)
必修	プロジェクト研究・実習(1)		5/8		○			竹内比呂也	千葉大学アカデミック・リンク・センター・人文科学研究院(実務家教員)
必修	プロジェクト研究・実習(2)		5/8		○			竹内比呂也	千葉大学アカデミック・リンク・センター・人文科学研究院(実務家教員)
			/						
			/						
			/						
			/						
合計:	15科目							120	時間

* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。